

れんけいと支援

地域医療支援病院 富山市民病院



富山市今泉北部町2-1 / Tel: 076 (422) 1112代 http://www.tch.toyama.toyama.jp / 発行日 2016年10月

地域の医療・保健・介護・福祉の方とともに、皆様の健康をお守りします

紅葉の候、皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。
日頃より当院との地域連携にご理解、ご協力いただき深く感謝いたします。
今月の診療科紹介は、精神科です。

診療科紹介

精神科



2013年度より精神疾患はがん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病に加えて、厚生労働省の5大疾病として医療計画に盛り込まれることとなりました。高齢化により激増している認知症のほか、うつ病、双極性感情障害などの気分障害、統合失調症、神経症圏、最近教育現場で問題となっている発達障害など、多くの疾患に対して取り組んでおります。

ブランドニュー トピック

Brand-new topic

特徴的な活動

【ACT(包括型地域生活支援プログラム)】

通院を中断したり、服薬が不規則になったり、支援する家族がいなかったりするなど、治療を中断する事により、症状が再燃する危険性がある患者に対して自宅等に出向いて状態を観察したり生活を支援したりする活動です。看護師、精神保健福祉士、作業療法士が協力して訪問しております。

【修正型電気けいれん療法】

難治性のうつ病患者や統合失調症患者などに行うもので、頭皮に電気を流す事により、人工的にけいれんを起こす治療方法です。従来型の電気けいれん療法に比べて骨折や脱臼などの合併症が少ないのが特徴です。さらに当院ではパルス波治療器を用いて健忘や心臓への負荷などの副作用の少ない治療法を行う事が可能です。昨年度は述べ278回の治療を行いました。

【医療観察法通院処遇】

心神喪失者医療観察法とは心神喪失、または心神耗弱の状態での殺人、放火、強盗、強姦、強制わいせつ、傷害といった重大な他害行為を行った人に対して、適切な医療を提供し、社会復帰を促進することを目的とした制度です。入院処遇は南砺市の北陸病院など、当院以外で行われますが、こちらではそういった方々の通院を受け入れており、保護観察所との密接な連携を行っています。

【クロザピン】

クロザピンは1969年より使用開始された統合失調症の薬でしたが、無顆粒球症という白血球が減少する副作用のため70年代より長らく使用されませんでした。しかし治療抵抗性の統合失調症患者に対する有効性が認められ、1990年よりアメリカ、イギリスで承認され、日本でも2009年より使用できるようになりました。週に1度の採血を行い、血液内科と連携して治療を行っています。

《メンバー》

長谷川雄介精神科部長、伊東徹精神デイケア科部長、西田公彦医長、大口善睦医師の4名の体制で行っております。



精神科スタッフ紹介

(写真左から)伊東徹精神デイケア科部長、長谷川雄介精神科部長、西田公彦医長、大口善睦医師

1. 地域連携・開放型病床症例検討会

日時：11月8日(火) 19:00~20:15 場所：当院3階 講堂

1) ミニレクチャー：「措置入院について」

精神科 西田 公彦

平成28年7月26日に、知的障害者施設に男が侵入し、19人を殺害、27人を傷害するという、後に平成という時代を振り返った時に、必ず取り上げられるであろう、特異な大事件が起きました。その容疑者が、同じ年の2月18日~3月2日に措置入院していたことから、事件の原因は精神医療の失敗にあるとするコメントも、早速に出ました。厚生労働省が、措置入院制度を見直すと慌てて言い出しています。特異な事件が起こると浮かび上がり、事件とともに忘れ

られてしまう措置入院とは、いかなる制度なのか。当科は、措置入院の診察も担当していますし、措置入院の受け入れも行っています。措置入院の目的、対象、手続き、実情について、この機会にお話したいと思います。精神科以外の先生方には、触れる機会の殆どない制度の話ですが、ニュースの正しい解釈へのご参考にしていただきたいと思います。

2) 症例検討 (2例)

(1) 「MRI対応の体内式ペースメーカー植え込みをおこなった完全房室ブロックの1例」

(紹介医)：柳瀬医院 柳瀬 茂満先生 循環器内科 寺崎 敏郎

(2) 「原発性マクログロブリン血症に合併したアミロイドーシスの1例」

(紹介医)：藤下内科クリニック 藤下 隆先生 腎臓内科 白石 詩織

予告

12月の地域連携開放型病床症例検討会は、時間を拡大してミニレクチャー2題、症例検討2例を予定しています。

※今回の参加は事前申し込みが必要です。詳細については、ふれあい地域医療センターTEL076-422-1112代までご連絡をお願いします。

日時：平成28年12月13日(火) 19:00~21:00

場所：当院3階 講堂

1) ミニレクチャー：2題 (1) 内分泌代謝内科 (2) 産婦人科

2) 症例検討：小児科・外科の2例を予定しています。

2. 内科CPC

日時：11月8日(火) 17:30~

場所：医局カンファレンス室

3. 緩和医療委員会 学習会

日時：11月8日(火) 18:00~18:45

場所：看護外来

○テーマ 「リンパ浮腫について」

○講師 緩和ケア認定看護師 金丸 修子

4. 糖尿病研究会定例学習会

日時：11月10日(木) 17:45~18:30

場所：看護外来

○テーマ 「糖尿病看護」

○講師 糖尿病看護認定看護師 金盛 佐紀子

5. アンガーマネジメント研修会(体験学習)

日時：11月14日(月) 13:15~16:00

場所：講堂

○講師 当院接遇向上委員会委員長 置塩 良政

6. 感染予防対策学習会

日時：11月18日(金) ①12:15~12:50 ②17:30~18:05

11月29日(火) ①12:15~12:50 ②15:00~15:35

11月30日(水) ①12:15~12:50 ②17:30~18:05

場所：講堂

○テーマ 「感染性腸炎対策」

○講師 感染管理認定看護師 安田 恵

7. 褥瘡セミナー

日時：11月25日(金) 17:45~19:00

場所：講堂

○テーマ 「褥瘡予防に役立つ最新スキンケア」

○講師 スミス&ネフュー 林 慶祐氏

8. NST学習会

日時：11月28日(月) 18:00~19:15

場所：講堂

○テーマ 「胃瘻造設・管理について」

○講師 消化器内科医師 蓑内 慶次

看護師 宮田 美和

9. 看護研修

《衛星研修S-QUE Eナース》

日時：11月2日(水) 17:40~18:40

場所：3階会場

○テーマ 「疾患別がんのケア

~女性特有のがんについて」

日時：11月16日(水) 17:40~18:40

場所：3階会場

○テーマ 「がん化学療法の症状管理

~皮膚症状のマネジメントとセルフケア支援」

《衛星研修S-QUE 新特別企画》

日時：11月25日(金) 17:10~18:50

場所：3階会場

○テーマ 第22回 病院環境フォーラム '16

「病院の住宅・訪問看護のあり方を考える」



作：病院ボランティア 篠崎 佳子

院内の専門職員のご紹介

緩和ケア認定看護師 島 佳子



緩和ケアは、がん患者さんに対するケアというイメージが強いですが、WHOの定義では「生命を脅かす疾患による問題に直面している患者とその家族」が対象であり、がんに特化はしていません。また、終末期というイメージも大きいと思いますが、がん対策推進基本計画で「治療の初期段階からの緩和ケアの実施」が挙げられているように、治療ができなくなってから関わるのではなく、手術後や治療中、在宅療養時にも並行して行われています。緩和ケアは、病気によって起こる痛みや吐き気、息苦しさなどの症状を和らげることを専門としています。また、身体の苦痛だけでなく、気持ちのつらさや社会生活のこと、そしてご家族も含めて支えていくことで、それぞれの患者さんが「その人らしく」過ごせるように支えています。

以前観たドラマの主人公は「人が苦しみに耐えられるのはその先に希望があるからだ!」とっていました。病気になるとたくさんの方のことを諦めて失うものも多いですが、人はどんな時も「こうありたい」という希望を持ち続けてこそ、自分らしく生きていけるのだと思います。その希望や思いを支え、生活の質・生命の質を維持するため、これからも緩和ケアの普及を続けていきたいと思っていますので、よろしくお願いたします。



医師不在のお知らせ ※外来担当日の休診のみ掲載

11月分

科名	医師名	不在日	科名	医師名	不在日
内科	大田	25日	呼吸器・血管外科	土岐	25日
	寺崎靖	14日	整形外科・ 関節再建外科	澤口	4日、18日、25日
	清水	25日		五嶋	1日～28日（長期研修のため）
	芝	22日		岩井	4日、24日、25日
	池田	30日	精神科	長谷川	25日
	杉本	22日	形成外科	置塩	4日、17日、18日
外科・消化器外科・ 乳腺外科	泉	17日	泌尿器科	児玉	17日、18日
	藤村	4日、11日、25日	小児科	橋本	22日
	吉川	4日、16日、24日、25日		坂田	18日
	佐々木	4日、25日	眼科	山田	4日
	庄司	30日			
	倉田	25日			

※その他、急に不在となることがありますので、ふれあい地域医療センターまでお問い合わせください。

予告 平成28年度 地域医療部 担当者交流会・講演会のお知らせ

日時：平成28年12月8日(木) 16:00～19:00 / 場所：富山市民病院 3階講堂

●担当者交流会 16:00～17:00

●講演会 17:30～19:00

テーマ：

(仮) 地域包括ケア時代と
医療・介護との連携

講師：四国医療産業研究所所長

日本医師会総合政策研究機構 客員研究員
医学博士 檀本真事先生

編集後記

10月16日(日)、ふれあい地域医療センターのチームで、富山あいの風リレーマラソン(ハーフマラソンの部)に出場しました。昨年に引き続き2回目の出場で、今年も気持ちの良い秋晴れの下、ゼーゼー息を切らしながら抜きつ抜かれつ何とか最後までたすきをつなぎました。タイムは昨年より6分縮まり、1時間53分6秒でのゴールでした。メンバーの日頃の練習の成果!？が出たのではないかと思います。運動不足になりがちな今日この頃ですが、スポーツの秋も楽しんでいきたいです。

ふれあい地域医療センター 八木 智矢



「れんけいと支援」に関するお問い合わせは、ふれあい地域医療センターまでご連絡ください。送付を希望されない方はお申し出ください。

TEL 076 (422) 1114 / FAX 076 (422) 1154
メールアドレス fureairenkei@tch.toyama.toyama.jp

ホームページ <http://www.tch.toyama.toyama.jp/> がん・なんでも相談室：メールアドレス shien@tch.toyama.toyama.jp